

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

川崎市長 殿



提出者

住 所 川崎市高津区梶ヶ谷3-13-31

氏 名 株式会社 代表取締役 工藤 尚樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-888-2068

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川崎市管轄内工事現場	自主管理番号	( 3101 )
事業場の所在地	川崎市管轄内工事現場	TEL(連絡先):	044-888-2068
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 建設工事・マンション分譲及び賃貸事業		
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	1752.2 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	34		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	廃棄物発生⇒各現場にて分別保管⇒自社又は収集運搬業者により処理場へ運搬⇒中間処理業者により選別⇒再資源化⇒残渣物は最終処分場へ		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
①収集運搬、処分業者の調査と選定 ②委託契約の締結 ③分別収集状況の把握と改契善策検討 ④社員、協力業者の教育と啓発 ⑤監督官庁への各種報告⇒安全課:①・②・③・④・⑤ / 各現場担当者:③ / 環境対策委員会:③・④			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	9種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,637.7 t	
(これまでに実施した取組)			
過去の施工実績と廃棄物発生量から現場毎の品目別基準発生量の目標値を設定。目標値を定めることで発生量の低減と分別の意識が向上。(昨年と同様)			
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	9種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,506.2 t	
(今後実施する予定の取組)			
具体的取組予定なし。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	協力会安全パトロールや環境対策委員会によるパトロールで各現場の分別状況と集積、保管状況を把握し、改善策を指示。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	今まで同様、混合廃棄物集積用コンフレの中を精査し、混合廃棄物の発生を抑制する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)				
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】				
	⑩ 全処理委託量		2,637.7	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0		t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量		2,637.7	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0		t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0		t	
	(これまでに実施した取組)				

② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑩ 全処理委託量	2,506.2 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,506.2 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t	
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		
(今後実施する予定の取組)			
※ 事務処理欄			

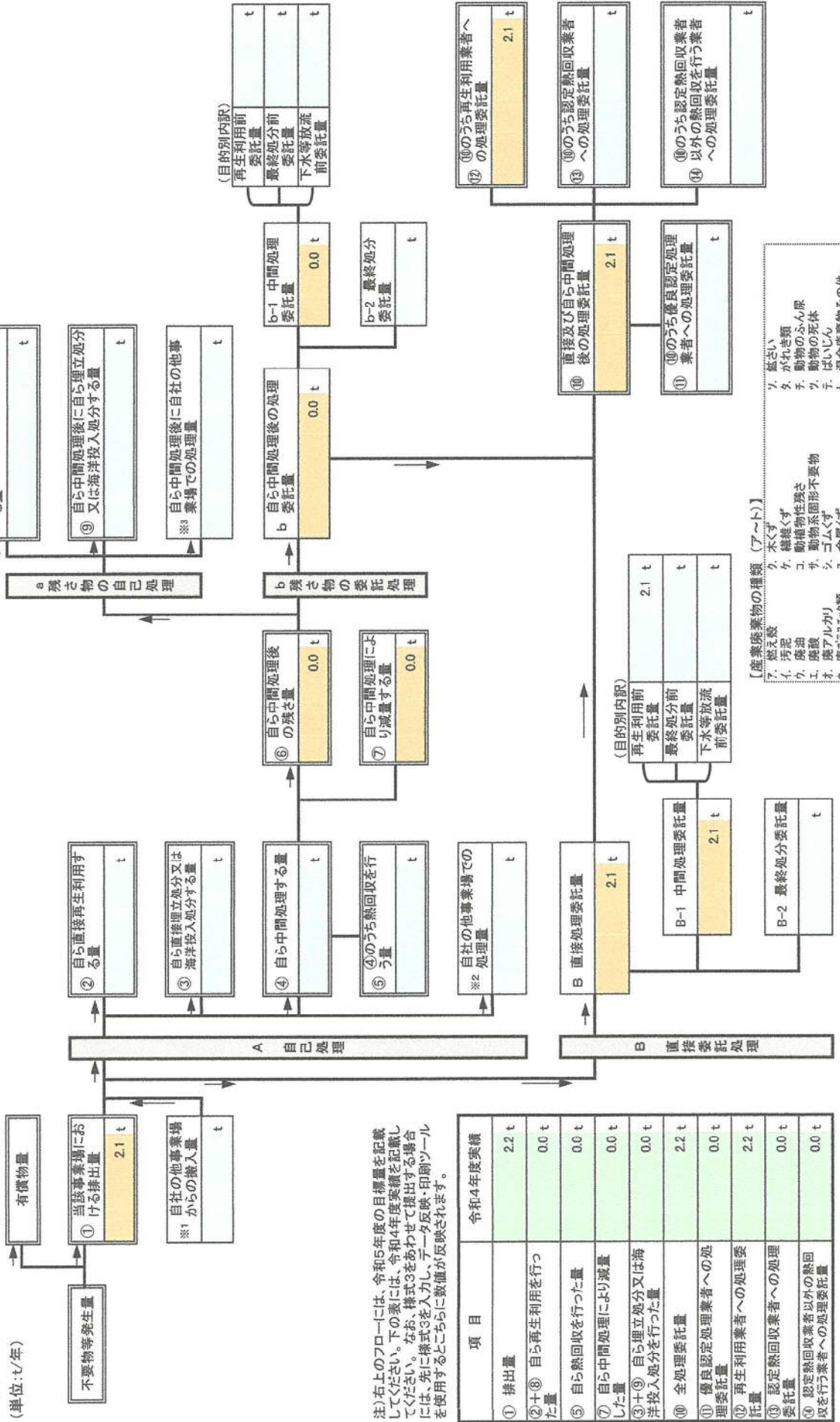


産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

1. 汚泥  
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
 (単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してあります。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2.2 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	2.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (アーク)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ケ. 動植物性残さ
- コ. 動物系固形不要物
- サ. ゴムくず
- シ. 金属くず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 藍さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

事業場名称 : 川崎市管轄内工事現場

2-2	法定	自主
-----	----	----

産業廃棄物処理計画書

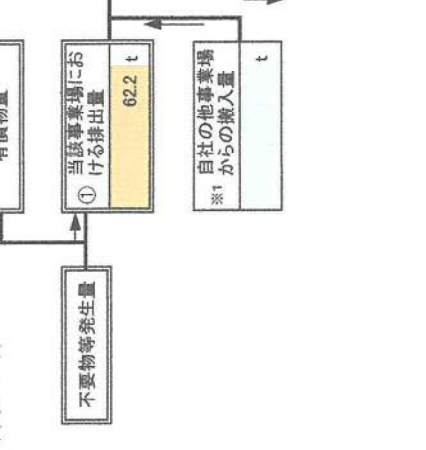
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	65.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	65.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	65.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ケ. 動植物性残さ
- コ. 動物の死体
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 藍さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

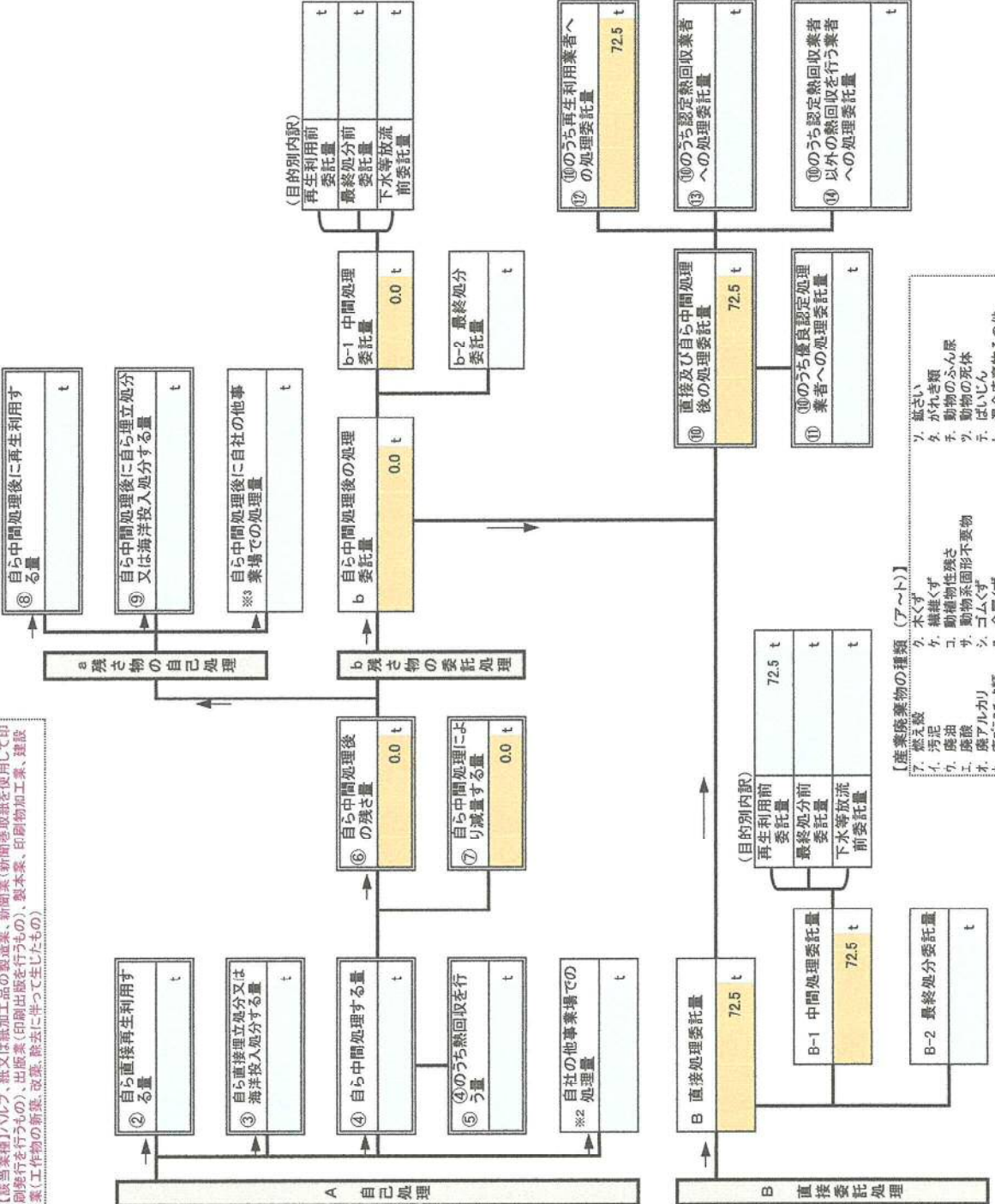
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

廃棄物の種類	キ、紙くず
不燃物等発生量	72.5 t
当該事業場における排出量	72.5 t
自社の他事業場からの搬入量	t

(単位: t/年)

※1 紙くずには塗料指定があり、該当塗料以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当塗料】ハルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業（新聞後取紙を使用し印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改築、解体に伴って生じたもの）

事業場名称：川崎市管轄内工事現場



- 【産業廃棄物の種類（ア〜ト）】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃プラスチック類
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃ガラス
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残渣
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 藍さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	76.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	76.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	76.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

産業廃棄物処理計画書

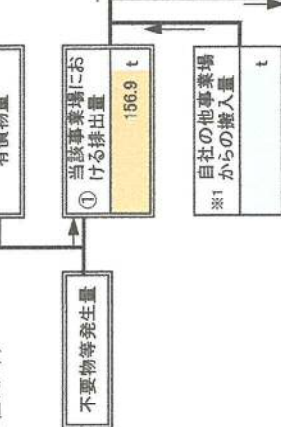
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【本表には本表に記載した産業廃棄物の種類(ク、ネグズ)を記載していただきます。異なる産業廃棄物の種類は別シートに記載してください。】

※ 本計画は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理計画は別シートに記載してください。

(単位:t/年)



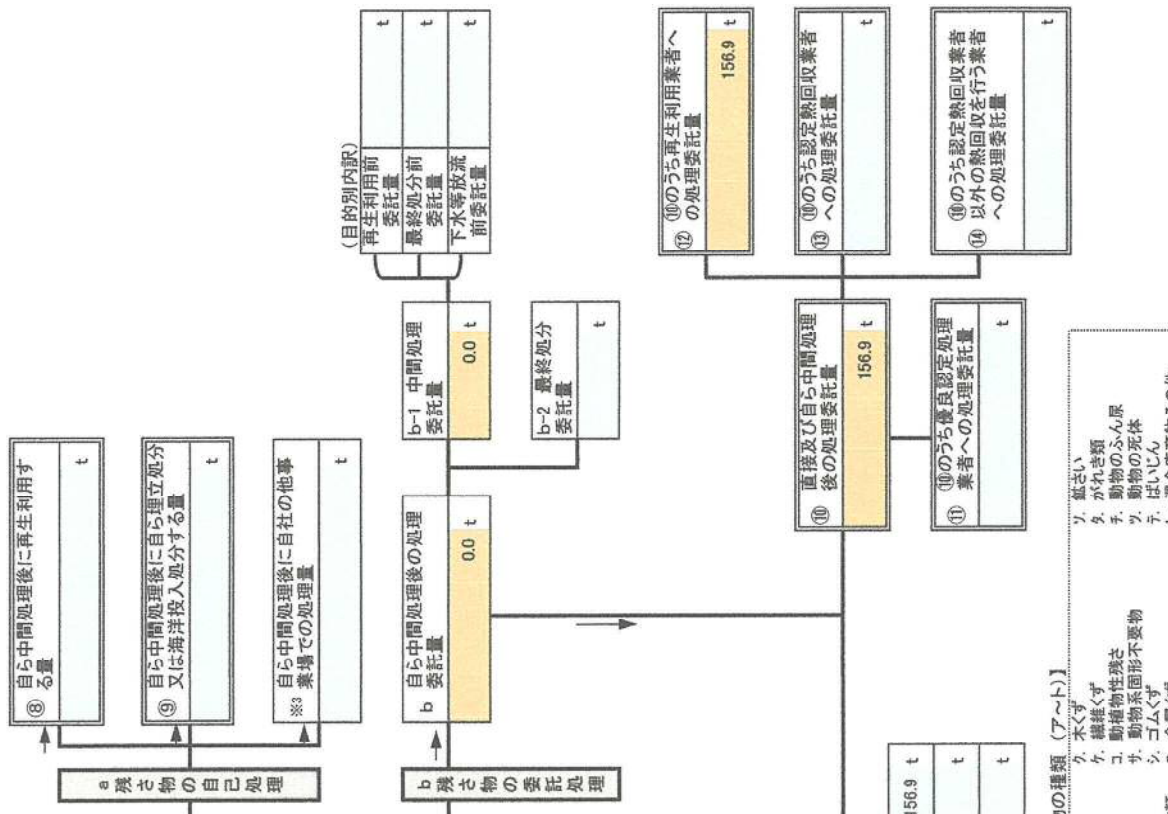
注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	165.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	165.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	165.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称: 川崎市管轄内工事現場

2-2	法定	自主
-----	----	----

【ネグズには資源型廃棄物及び、該当処理以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。【該当種類】本材又は本製品の製造業(家庭用消費資材を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品消費業に属するもの、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)【企業種別】物の処理のために使用したパレット/トレットへの重物の積付けのために使用した梱包用の資材を含む。】



- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃アルカリ
  - オ. 廃プラスチック類
  - カ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残渣
  - ク. 動物のふん尿
  - チ. 動物の死体
  - リ. ゴムくず
  - ニ. 金属くず
  - ホ. ガラス/コンクリート・陶磁器くず
  - ヘ. 藍さい
  - ト. 混合廃棄物その他

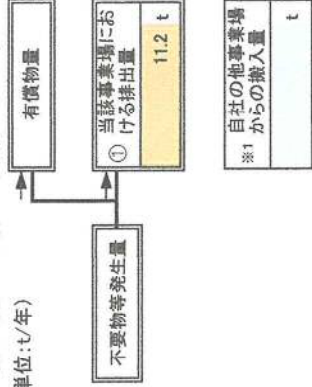
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

「継続くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【除当該業種】繊維工業（衣服その他の繊維製品製造業を除く）、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
(単位: t/年)

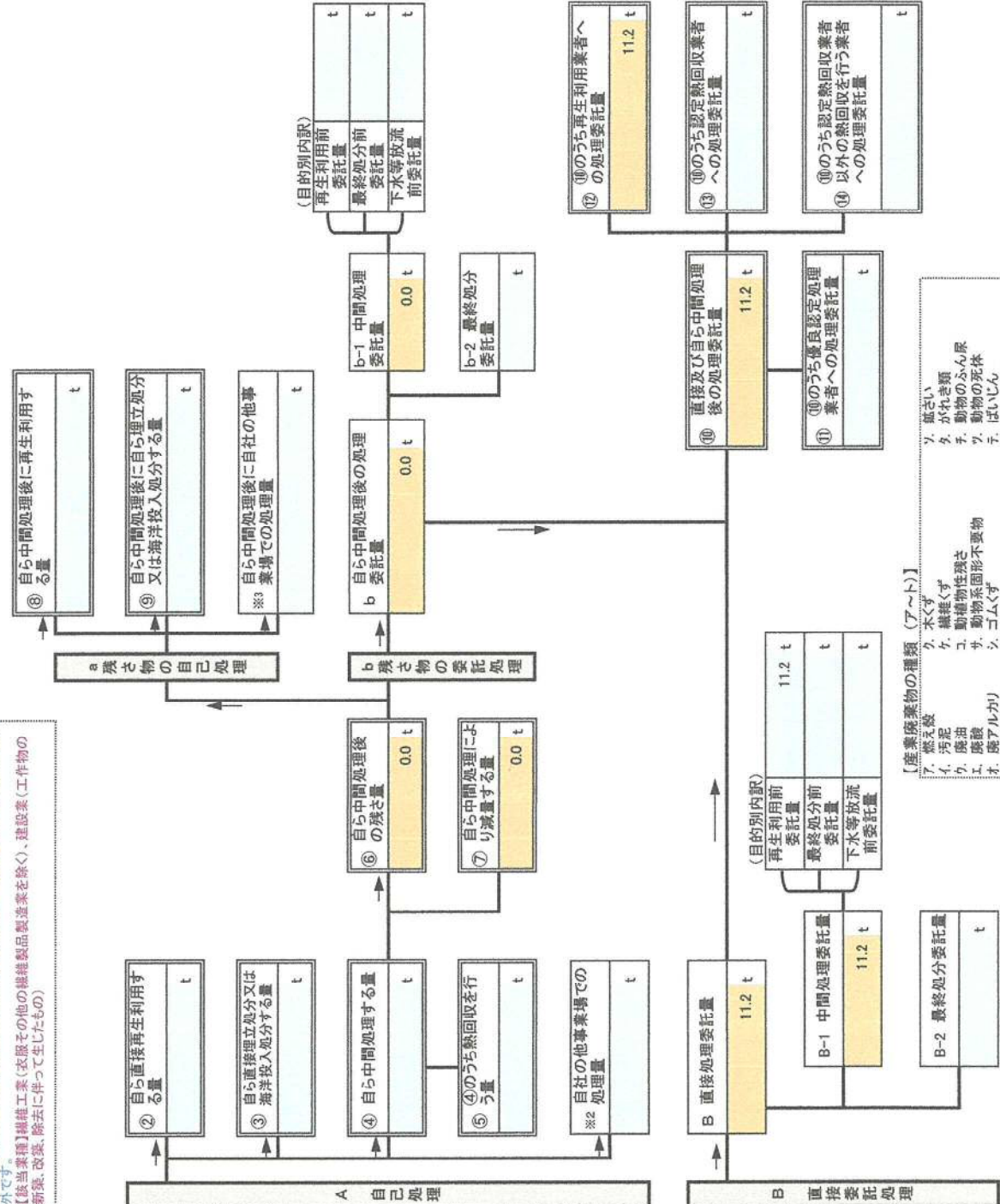


項目	令和4年度実績
① 排出量	11.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	11.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	11.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載していただき、なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することにより数値が反映されます。

事業場名称 : 川崎市管轄内工事現場

2-2 法定 自主



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残渣
  - サ. 動物系固形不燃物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 藍さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

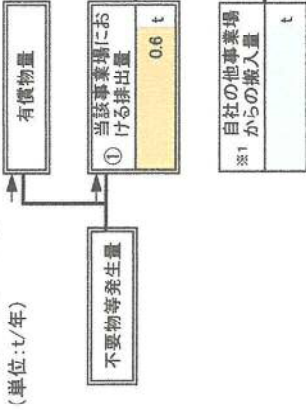
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

廃棄物の種類	ス、金属くず
--------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

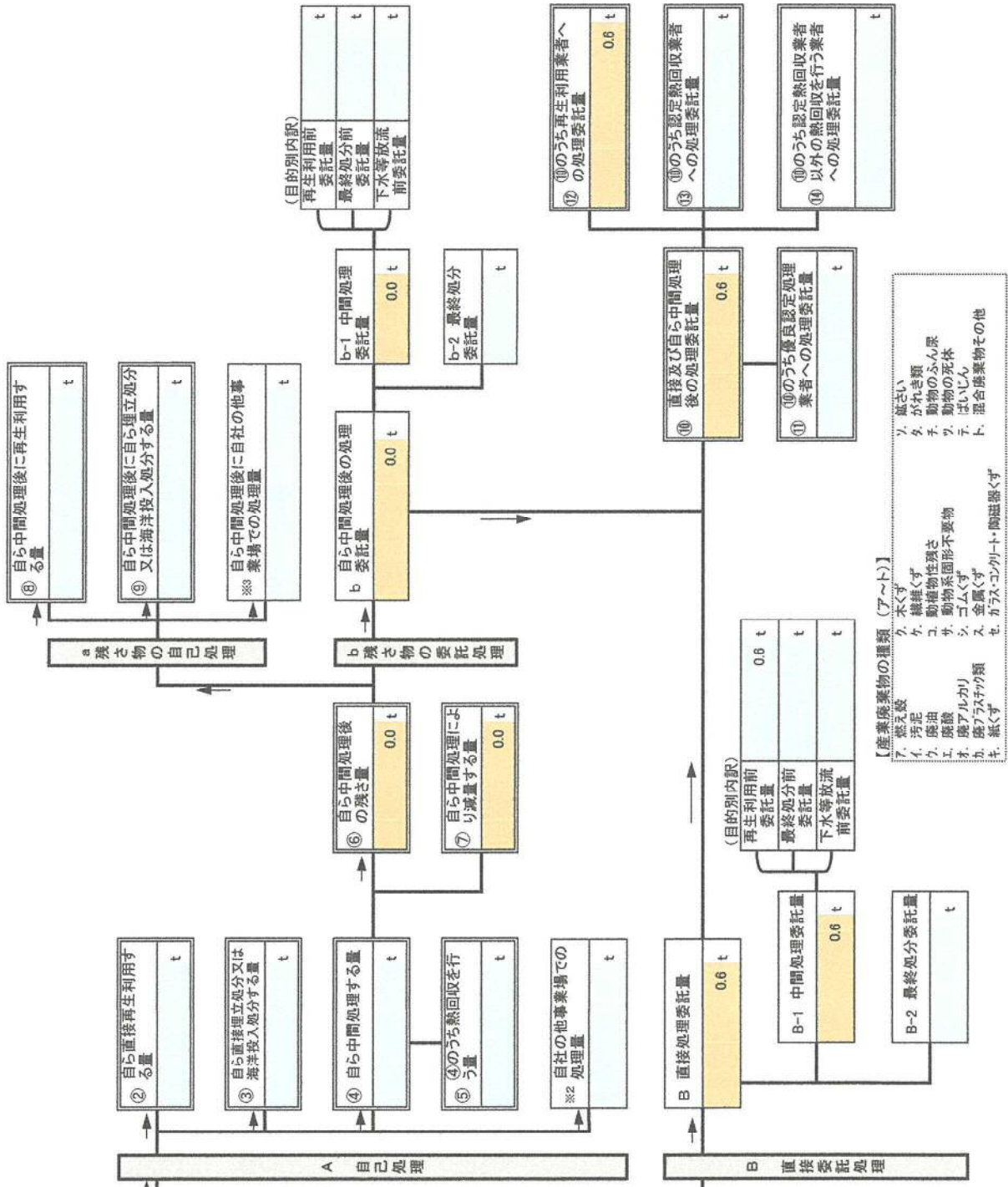


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の様には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	0	自主	0
-----	----	---	----	---

事業場名称：川崎市管轄内工事現場



- 【産業廃棄物の種類 (7-アト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残渣
  - ク. 動物性残渣
  - ケ. 動物の死体
  - コ. ばいじん
  - セ. 混合廃棄物その他

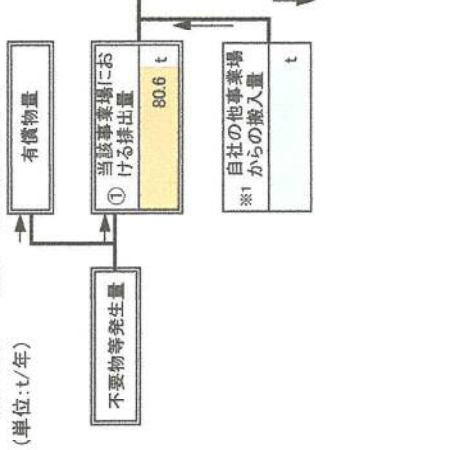
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業セ. ガラス・コンクリート・陶磁器く  
廃棄物の種類  
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃  
棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

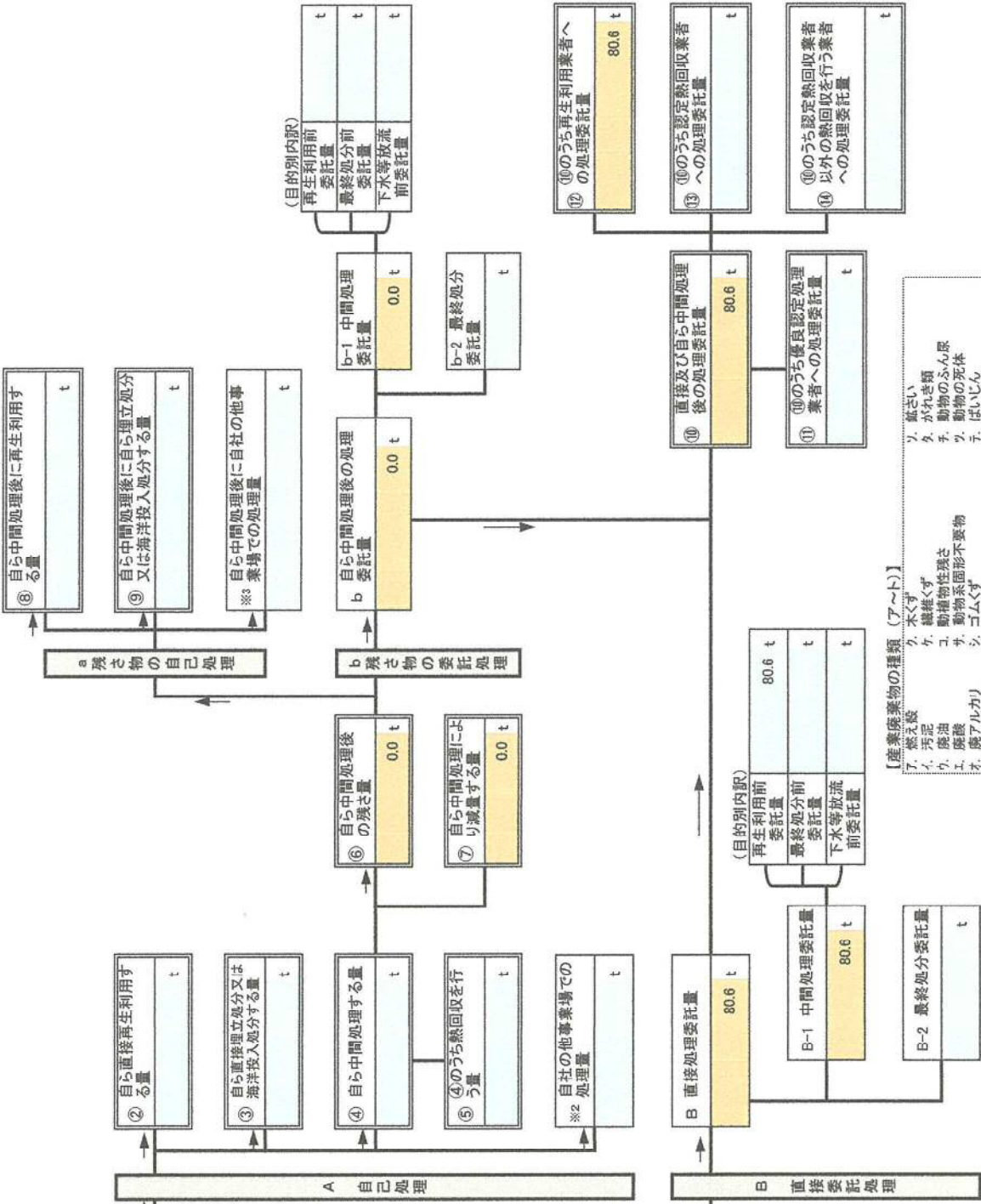


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	84.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	84.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	84.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 川崎市管轄内工事現場

2-2 法定 自主



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. アルカリ
  - オ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動物性残渣
  - コ. 動物系固形不燃物
  - カ. ゴムくず
  - シ. ガラス
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 藍さい
  - タ. がいき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじり
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

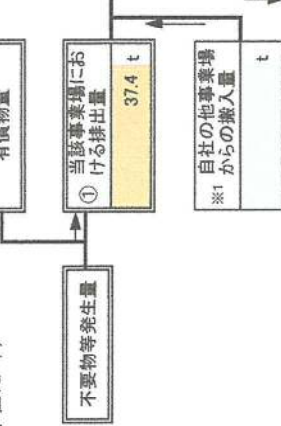
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

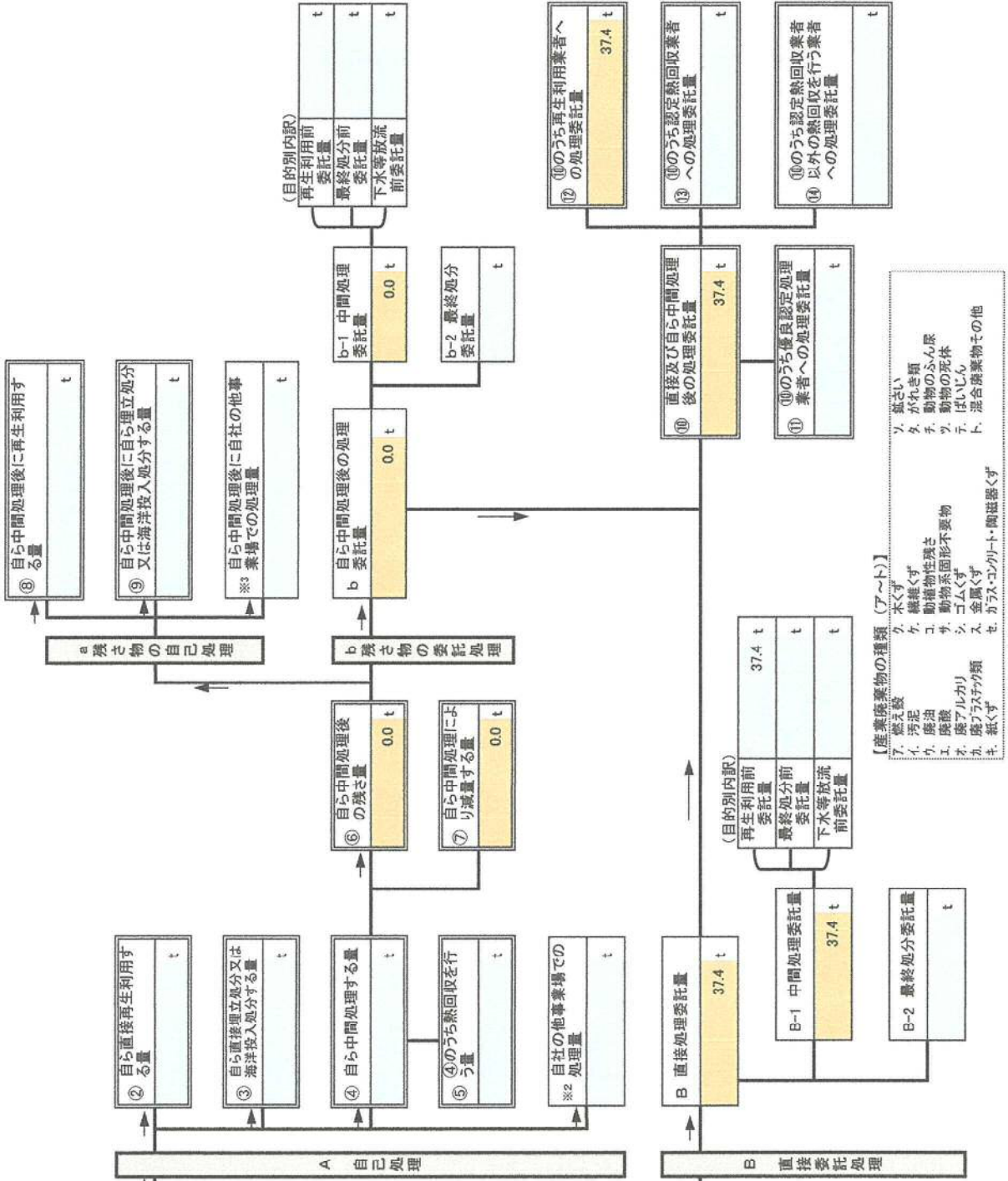


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	39.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	39.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	39.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称: 川崎市管轄内工事現場



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- ク. 動物系固形不要物
- シ. コムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. ぬい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

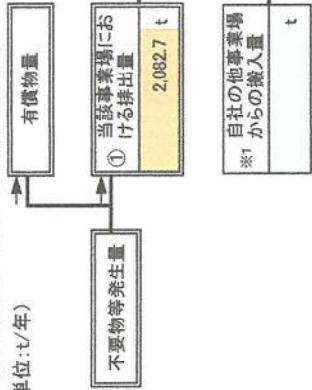
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
 ト、混合廃棄物その他

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

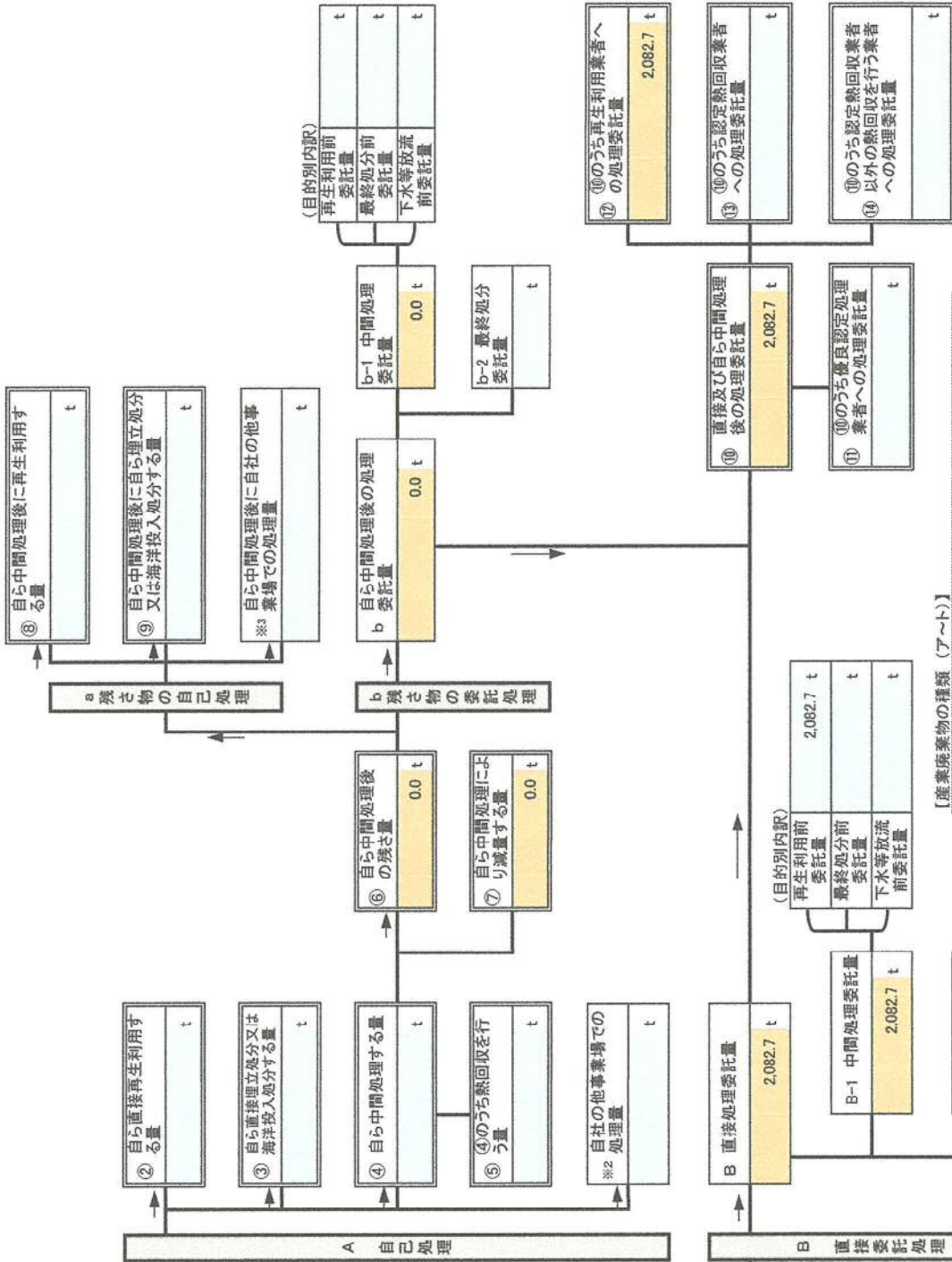
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2,192.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,192.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	2,192.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称：川崎市管轄内工事現場



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃酸
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 木くず
- ケ. 動物性残渣
- コ. 動物系固形不要物
- サ. コムくず
- シ. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. ぬい
- タ. がれき類
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他